

2013年5月14日

世界最高の超低熱収縮ディスプレイ用ガラス基板「AN Wizus™」を販売開始 ～熱処理による収縮を抑え、高精細パネルの品質・生産性の向上に貢献～

AGC 旭硝子株式会社

AGC（旭硝子株式会社・本社：東京、社長：石村和彦）は、スマートフォンやタブレットPCなどの高精細ディスプレイ用パネルに最適な、世界最高の超低熱収縮特性を有するガラス基板「AN Wizus™（エイエヌ ウィザス）」を2013年5月より販売します。

スマートフォンやタブレットPCでは、低温ポリシリコン（LTPS）液晶や有機ELなどの高精細パネルの採用が拡大しています。これらの高精細パネルでは、製造工程における高温での熱処理によるガラス基板の収縮が、パネルの品質や生産性に大きく影響します。そのため、高精細パネルに用いるガラス基板は熱処理による収縮が小さいことが求められています。

AGCのガラス基板は、長い徐冷工程により低熱収縮ガラスの生産に適したフロート法で生産されており、現行製品のAN100は業界トップレベルの低熱収縮ディスプレイ用ガラス基板として多くのお客さまに採用されています。当社は、高精細パネルの品質や生産性のさらなる向上のため、熱収縮がより小さいガラス基板の開発を進めてきました。

今回販売を開始するAN Wizus™はフロート法での生産に加え、ガラス組成を改善することで、熱収縮をAN100と比べ約5分の1に抑えた圧倒的な低熱収縮を実現しており、高精細パネルの品質や生産性の改善が期待できます。

この他にも、AN Wizus™は高精細パネルに適した特性を備えています。

【AN Wizus™の主な特性】

- ✓ 圧倒的な低熱収縮
(熱収縮率；AN Wizus™：7 ppm^{*1}、AN100：33 ppm^{*1}；約80%改善)
- ✓ ヤング率（曲げに対する剛性）が高く、撓みが小さい
(ヤング率；AN Wizus™：85 GPa、AN100：77 GPa；約10%改善)
- ✓ パネル薄型化工程におけるエッチング^{*2}速度が速い
(AN100比約10%速度向上^{*3})
- ✓ 良好な光弾性特性（パネルコントラスト特性の向上）
(光弾性定数；AN Wizus™：27 nm/cm/MPa、AN100：31 nm/cm/MPa；約10%改善)

※1 600℃で10分間の熱処理後

※2 薬液によるガラスの薄型化処理

※3 当社調べ

AGCは、今後もガラス材料設計、フロート法による高度なガラス製造技術など幅広いガラス技術を追求し、高度化の進むディスプレイ産業の発展に貢献していきます。

なお、AN Wizus™ は5月20日よりバンクーバーで開催される展示会“Society for Information Display (SID)”の当社ブースで展示します。

以上

◎本件に関するお問い合わせ先: **AGC** 旭硝子(株)広報・IR室長 上田 敏裕
(担当:小田原 TEL: 03-3218-5603、E-mail: info-pr@agc.com)

<AN Wizus™の外観>

